

都会のオアシス「明治神宮」に参拝して

東京登別げんきかい 事務局長 宮 高 隆

大正9年、明治天皇と昭憲皇太后を祀るために創建された明治神宮は、今年で鎮座94年を迎えました。全国から約10万本の樹木が奉納され、今や都会のオアシスとして、年間約1千万人の参拝者を集める、明治神宮の中島精太郎宮司は、わが故郷登別の出身者で、今年の夏のイベントの行き先は迷うことなく決まりました。

7月12日土曜日、大津会長以下新人会員を含む60余名は、原宿口まで迎えに来ていただいた明治神宮の長友権禰宜の案内に従い、原宿門から檜造りの明神鳥居として日本一の大さを誇る大鳥居をくぐって、参道の玉砂利を踏みしめる音に、知らず知らず心を集められながら本殿に向かう。正参道の中程でほぼ直角に右折しているというのも明治神宮の大きな特徴の一つで、右折の角度は創建時の技師の提案で末広がり八八度に設定されているとのこと。本殿での自由参拝の後、神楽殿での昇殿参拝。



明治神宮では、元旦の早朝に行われる歳旦祭を始め、年間を通して様々な祭事が行われる。国技、相撲との関わりも深い。また、若者、外国人も多く見られ、当日は明治

神宮での挙式の列に出会いました。

中島精太郎宮司は、「清き、明き、正き、直き」をより徹底して自分に課して、明治神宮は「祈りの社」だと言っています。明治神宮に足を踏み入れると、空気が涼やかで、森の中にいるような清々しい気持ちになります。

明治天皇がお使いになられた机や文房具、筆筒、書籍、フロックコート、食器、馬車など御祭神ゆかりの品々が展示されている宝物殿を見学。神宮外苑にある明治記念館は北海道ふるさと会連合会の新年会の場所でもある。明治神宮を参拝した後は、新宿御苑を散策、炎天の下、喉が渴ききつたところに新宿三丁目の居酒屋「北海道」に55名余り集まり、今日の明治神宮参拝の清々しい気持ちを忘れずに乾杯。参加者一同、今日の明治神宮参拝の感激は一生の思い出となるでしょう。

ニュース

幕別会から

東京幕別会では、4年前から、ふるさとの食文化であるジンギスカンを新宿で食して会員の親睦を深めてきました。今年は会員のうなぎ屋に場所を変える予定でしたが、ビル建て替えと重なり、2月22日(土)に役員が設計に関わった五反田駅ビルの飲食店で、12名で行いました。開催中のソチオリンピックの話、2週連続の大雪に関連して「雪かき」か「雪はね」か、などの話題で盛り上がり、来年も2月に集まることにして、笑顔で散会しました。

四季の語らい、
くつろぎのひととき。



アルカディア市ヶ谷
私学会館

JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線) 市ヶ谷駅 徒歩2分
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
TEL 03-3261-9921 FAX 03-3261-7760

BANQUET
宴会・会議

ACCOMMODATION
宿泊

RESTAURANT
レストラン

